

農業ひろさきは、弘前市農業委員会のホームページからもご覧いただけます。

弘前市農業委員会

で 検索

★ ★ ★ 農業ひろさき ★ ★ ★

2014年 8 月 1 日 (第102号)
(平成26年 8 月 1日)

編集と発行
弘前市農業委員会
〒036-8551
弘前市大字上白銀町1-1
☎(0172) 40-7104

農業委員会 要請活動

葛西市長へ「食農教育の充実」を要望

市農業委員会は、平成26年第2回総会で決議した要望事項の実現に向けて7月8日、運営委員6名が葛西憲之市長を訪れ、「食農教育の充実に関する要望」の要望書を手渡しました。

要望の主な内容は「食育と農業体験学習の総合的な取り組みの支援」及び「学校の給食において、地元農産物の利用拡大に一層努めること」です。

要望書を受け取った葛西市長は、親子料理教室や各種クッキング講座・学校授業の中での農作業・グリーンツーリズムを活用したモニターツアーなどの食と農に関する事業を説明し、さらに「市独自に実施している学校給食の地元農産物加工品納入業者への補助事業において、一層の利用率アップに取り組みたい」と述べ、食農教育について運営委員と熱心に意見交換しました。



(写真上)要請活動の様子
(写真右)葛西市長(左)へ
要望書を手渡す下山会長(右)

農家の声を市政へ!「青空座談会」開催!!

「青空座談会」が6月5日に鬼沢地区で開催され、葛西憲之市長と集まった農家が様々な課題について話し合いました。



「青空座談会」の様子

「青空座談会」は葛西市長が農家と直接対話し、意見や提案を農業政策に反映させる目的で、毎年開催されています。

今回は、鬼沢地区で農作業の現地督励後に開催されました。会場には、葛西市長と地元農家約35人および、農業委員や県、農業団体関係者が参加。葛西市長は「弘前の元気は、農家が元気なこと。皆さんと膝をつき合わせて語り合いたい」と述べました。

農家から、農道除雪や園地の一部舗装などの要望が出されるなど、活発な座談会となりました。

現地督励で激励

市や県、農業団体などで組織する弘前市農業生産推進協議会(会長 葛西憲之市長)は6月5日、農作業の現地督励を行いました。

現地督励は毎年行われており、今回は、堀越地区の大豆ほ場(農事組合法人ほりこしファーム 佐藤修司代表理事)と、鬼沢地区のりんご園(園主 鳴海廣治さん)の2か所を訪れました。

葛西市長は効率的な作業の様子や農作物の生育状況等を確認し、農家の方々を激励しました。



(写真左)堀越地区で激励する葛西市長(左)
(写真右)鬼沢地区で生育を確認

三村知事 弘前のりんご農家を激励



園主の渋谷さん(左)と談笑する三村知事(右)

7月4日、三村申吾青森県知事が弘前市一町田のりんご園を訪れ、高品質りんごの生産を呼びかけました。

今回、三村県知事が訪れたのは、弘前市一町田にある渋谷健一さんの園地です。会場には、地元農家をはじめ蛭名正樹副市長や関係者、農業委員ら約90人が集まりました。

三村知事は「トップセールスをこれからも頑張ります。生産者の皆さんが本物のりんごを作っているの、青森のりんごはとても評判がいい。高品質生産のため、適正着果をよろしくお願いします」とあいさつ。参加した地元農家の方々の意見に丁寧に受け答えした後で、園主の渋谷さんから仕上げ摘果を教わり、自ら適正摘果を実践するなど、高品質生産に取り組む農家を激励しました。

「女性のチャレンジ賞」受賞を市長に報告！ サンフェスタいしかわ友の会

「女性のチャレンジ賞」は、起業、NPO法人での活動、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援する団体・グループを表彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことで男女共同参画社会の実現の気運を高めることを目的に内閣府が実施しているものです。

サンフェスタいしかわ友の会は、平成26年度「女性のチャレンジ賞特別部門賞(H26テーマ「女性が輝く、地域が輝く」)」を受賞しました。

7月7日、相馬由美子会長と成田志賀子副会長が葛西憲之市長を訪れ、受賞の喜びを報告しました。



表彰状と記念品を手に葛西市長(中央)と記念撮影する相馬会長(左)と成田副会長(右)

清水森ナンバの鉢植え体験

6月27日、弘前市立第二中学校(田中慶一校長)の1年生約200名は、弘前地域に伝わる「清水森ナンバ(唐辛子)」の鉢植え体験をしました。

当日は、在来津軽「清水森ナンバ」ブランド確立研究会の中村元彦会長や弘前大学農学生命科学部の前田智雄准教授ら約30名が来校し、清水森ナンバの説明の後、作業を指導しました。

生徒たちは鉢に土を入れた後、苗をやさしく植えていました。



苗を植える生徒たち

農産物等放射線モニタリング調査を実施

市では、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故に伴う農産物等への風評被害を防止するため、今年度も農産物等放射線モニタリング調査を市内11か所で、7月から11月まで毎月1回実施します。

◆【放射能検査】

りんご5か所、水稲1か所、桃1か所、トマト1か所、嶽きみ1か所、ピーマン1か所、清水森ナンバ1か所の計7品目、11か所で実施します。

◆市ホームページ

モニタリング調査の結果等については、市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>

【モニタリング調査結果書の利用について】

市の放射線モニタリング調査結果書は、弘前市で生産された農産物を出荷する際、放射線についての安全性証明書としてご利用いただけます。

モニタリング調査結果書の原本証明を希望される方は、下記へお問い合わせください。

■問い合わせ先 農業政策課農産係(市役所新館4階)

☎40-7102

すてきな出会いをサポートします！
詳しくは農業委員会まで

～農地中間管理事業～

農地の借受希望者の募集と、農地の貸付希望者の受付開始

農地中間管理事業は、農地の出し手から機構（支援センター）が農地を借り入れ、規模拡大を希望する受け手農家に、農地を貸し付けるものです。

受け手の公募は6月末から実施しており、機構（支援センター）のホームページに公表されています。農業政策課に応募用紙がありますので、是非応募してください。農地の出し手の方についても受付けています。

【農地を貸す方のメリット】

- ① 契約期間が終われば農地は確実に戻ります。
- ② 機構が賃借料を支払いますので、安心・確実です。
- ③ 農業者年金の「特例付加年金」を受給できます。
- ④ 一定の要件を満たせば、「機構集積協力金」を受けることができます。

協力金	対象者	要件	単価（機構への貸付面積による）
経営転換協力金	・経営転換する農業者 ・リタイアする農業者 ・農地の相続人	経営している全農地（10 [㌶] を除くことが可能）を10年以上貸し付けし、かつ、受け手に貸し付けられること（※ 遊休農地等の所有者は対象外）	・0.5 [％] 以下→30万円/戸 ・0.5～2.0 [％] 以下→50万円/戸 ・2.0 [％] 超→70万円/戸
耕作者集積協力金	機構借受地等の隣接農地を、 ・自ら耕作する所有者 ・当該農地を借入耕作する者	対象農地を10年以上貸し付けし、かつ、受け手に貸し付けられること（※ 遊休農地等は対象外）	・26～27年度→2万円/10 [㌶] ・28～29年度→1万円/10 [㌶] ・30年度→5千円/10 [㌶]

【農地を借りる方のメリット】

- ① 毎年の賃借料の払い込みは、機構に申し込めば、口座振替が可能になり、手間がかかりません。
 - ② 貸主が複数いても、借主は機構と契約するだけで済みます。
 - ③ まとまった農地（要望に応じて簡易な基盤整備をする場合もある）を借りることで、作業の効率化が可能です。
- 農地中間管理事業の要件など詳細については、下記の問い合わせ先へご相談ください。

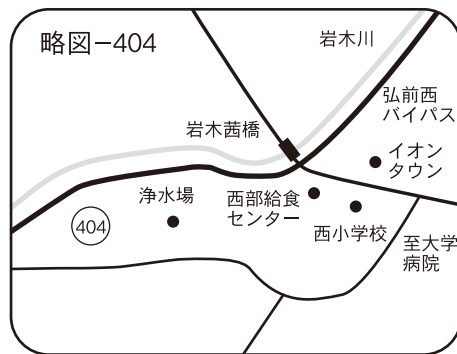
■問い合わせ先 公益社団法人あおもり農林業支援センター ☎017-773-3131
 中南地域担当 ☎090-1490-1317
 農業政策課農業振興係（市役所新館4階） ☎40-7102

青森県産業技術センター

りんご研究所参観デー

- ◆日時 9月3日（水）、4日（木）の午前9時～午後4時（最終日は午後3時まで）
- ◆場所 りんご研究所（黒石市牡丹平）
- ◆内容
 - 🍏 特設コーナー「今知っておこう！生理障害のすべて」
 - 🍏 研究成果の資料展示、試験圃場の公開ほか
 - 🍏 りんご講演会
 - 🍏 りんごの試食販売（3日はミスりんごが来ます）
 - 🍏 りんご史料館と油彩画展「老いたるりんご物語」
- ※ りんご講演会は3日の午前10時～11時半、りんご試食販売は3日の午後1時～2時と、4日の午前10時～11時（無くなり次第終了）
- ※ 駐車場は東公園をお使いください。
- 問い合わせ先（地独）青森県産業技術センター りんご研究所 ☎52-2331

流動化情報（新規）



申出区分	略図	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望売渡価格
売りたい	404	樋の口町	畑	更地	35.65a	10a当たり200万円（交渉次第）

■取扱窓口及び問い合わせ先

- ① 農業委員会農地係（市役所新館4階）☎40-7104
- ② 農業委員会岩木分室（岩木庁舎1階）☎82-3111 内線611
- ③ 農業委員会相馬分室（相馬庁舎1階）☎84-2111 内線805

独身農業者縁結び事業

会員募集中！

大好評 平成26年弘前市 朝市・産直マップ配布開始!



地元農産物の消費拡大を図るため、朝市・産直マップを作成しました。

朝市や産直施設の場所をはじめ、営業期間や取扱農産物などを紹介しています。

マップは無料で配布していますが、数に限りがありますので、お早めどうぞ。

◆配布場所 市役所本庁舎、岩木庁舎、相馬庁舎、りんご公園、市立観光館など

■問い合わせ先 農業政策課農業振興係 (市役所新館4階)
☎35-1111 内線581

園芸学会東北支部第30回記念大会公開シンポジウム開催 「東北地方の農産物の販売・生産拡大戦略」

東北の農産物、特に青森県の重要な農産物であるリンゴや、近年関心が高まっているモモ、東北で生産が伸びているイチゴについて、その生産から販売・輸出戦略を生産者や関係者を交えて考える良い機会です。

皆様のご来場をお待ちしています。

◆日時 8月27日(水) 午後1時30分～3時30分
◆場所 総合学習センター2階多目的ホール(末広4丁目)
※参加費無料、事前申し込み不要。どなたでも参加頂けます。

【講演内容】

- (1) りんごの輸出・販売戦略について
弘前大学人文学部 黄孝春氏
- (2) 涼しい夏を活かして東北産夏秋イチゴの生産拡大へ!
(独) 農研機構東北農業研究センター 山崎浩道氏
- (3) 「北限の桃」産地化に向けた取り組み
かづの農業協同組合 根本隆嘉氏

■問い合わせ先
園芸学会東北支部第30回記念大会実行委員会
☎39-3808 (弘前大学農学生命科学部内)



ご結婚おめでとうございます



地域の仲間たちに結婚を祝福される鳴海さんご夫妻。
お二人は平成24年2月に開催された弘前市青年交流会の交流パーティーで出会い、今年4月にご入籍されました。

おめでとうございます。末永くお幸せに・・・



りんごもぎ取り体験しませんか

今年も市りんご公園で、「りんごもぎ取り体験」が始まります。食べごろに育ったりんごを、皆さんの手でもぎ取りしていただきます。収穫したりんごを、そのまま食べてみることもできます。

皆さんお誘いあわせの上、ご来園ください。

◆期間 8月1日から11月中旬頃まで

◆場所 市りんご公園(清水富田字寺沢)

◆体験料金 200円/kg

※1人最大2kgまでもぎ取り可。

ただし、品種によっては数に限りがございますので、ご了承ください。

■問い合わせ先 市りんご公園

☎36-7439



東日本大震災に係る 県税の特例措置等のお知らせ

東日本大震災により被害を受けられた方々には、県税の特例措置があります。

例えば、被災した不動産(土地、家屋)に代わる不動産を取得したときは、不動産取得税が軽減されます。

詳しくは、下記までお問い合わせください。県ホームページ「県税・市町村税インフォメーション」にも掲載しています。

■問い合わせ先 中南地域県民局県税部
☎32-4341(直通)

空き農家住宅を有効活用しませんか

「空き農家住宅の所有者」を市内の「新規就農者及び新規就農希望者」へ紹介し有効活用をお手伝いします。

市では、市内の農村集落にある空き農家住宅の情報収集及び情報提供を行い、新規就農者や新規就農希望者の空き農家住宅への定住をすすめ、円滑な就農を支援するなど農村地域の活性化を図ることを目的とした「ひろさき農家住宅情報バンク」を実施しています。

この情報バンクは、空き農家住宅の所有者と利用希望者が情報を登録し、利用希望者への情報提供を円滑に行うことを想定しています。空き農家住宅の所有者は、下記へお問い合わせください。

◆情報収集・提供対象地区
東目屋、船沢、高杉、裾野、新和、石川、岩木、相馬の8地区

■問い合わせ先 農業政策課農業振興係
(市役所新館4階)

☎35-1111 内線581、582

